

ふくしま 浜街道トレイル シンポジウム

浜通りを
歩いてつなぐ220km

2023.1.22〔日〕 13:30—16:30

会場 双葉町産業交流センター
1階 大会議室



ふくしま 浜街道トレイル シンポジウム

浜通りを歩いてつなぐ220km

東日本大震災からの復興が今なお進む福島県浜通りに、長く歩く旅の道(ロング・ディスタンス・トレイル)を設定する計画が進んでいます。雄大でときに荒々しい太平洋を眺めながら、阿武隈山系に育まれた豊かな自然や地域で受け継がれてきた歴史と営みの中を巡るこのトレイルは、浜通りのありのままの魅力を感じることができる歩く旅の道です。2023年度の全線開通に向けて準備を進めており、地域の皆さんにも広くこのトレイルを知っていただくことを目的にシンポジウムを開催することになりました。受け入れてくださる地域の方、トレイルを歩いてくださる人がいて、はじめて道は長く長く未来に続いていきます。

このシンポジウムをきっかけに、この道をつなぐ仲間になっていただければと思いますので、ご興味をお持ちの方はどなたでもご参加ください。

開催日時

2023年1月22日(日)

13:30～16:30

[13:00より受付開始]

会場

双葉町産業交流センター
1階 大会議室

〒979-1401

福島県双葉郡双葉町

中野高田1番地1



第一部 | ふくしまの浜海道をつなぐ

浜通りにつながる
ロングトレイル 西山敦 [うつくしま浜街道観光推進会議事務局 いわき市]
長谷川晋 [(一社)トレイルブレイズハイキング研究所]

ルート上の市町村紹介 うつくしま浜街道観光推進会議構成13市町村

ルート全線を歩いて 中島悠二 [写真家]

ふくしま浜街道トレイルが
つながる意義 小沢晴司 [宮城大学]

第二部 | 地域を貫く一本の道

講演:(伴走者)がつなぐ
被災地の内と外 安東量子 [NPO法人福島ダイアログ]

クロストークセッション 「ふくしま浜街道トレイルへの期待」

ファシリテーター 相澤久美 [NPO法人みちのくトレイルクラブ]

パネル 安東量子 [NPO法人福島ダイアログ]、佐藤亜紀 (HITOkumalab)
豊田善幸 [NPO法人中之作プロジェクト]、
長谷川晋 (一社)トレイルブレイズハイキング研究所(敬称略)

主催: うつくしま浜街道観光推進会議
事務局: NPO法人みちのくトレイルクラブ
協力: 一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所、
宮城大学 景観と再生研究室(小沢研究室)

補助事業名: 環境に配慮した持続可能な周遊観光促進事業 うつくしま浜街道トレイル(仮)の造成事業～ふくしま沿岸を歩く旅で何度も訪れてもらうための仕掛け作り～

お申し込み: 右のQRコードから必要項目をご入力の上送信ください。

お問合わせ: NPO法人みちのくトレイルクラブ

TEL: 022-398-6181 Mail: info@m-tc.org



登壇者



安東 量子

作家/NPO法人福島ダイアログ理事長
いわき市在住。放射線測定などの地域
活動をはじめ、対話集会「福島ダイアログ」
を主宰。復興活動に携わる。



佐藤 亜紀

大熊町民/HITOkumalab代表
大熊町在住。キウイ栽培、伝統芸能保存継
承等、日々のくらしと共に地域コミュニティ
支援を行う。



豊田 善幸

建築士(豊田設計事務所) /
NPO法人中之作プロジェクト
副代表理事

津波被災した古民家を買取り「中之作」
に移住。港町の風景保存活動を続ける。



小沢 晴司

公立大学法人宮城大学
事業構想学群 教授

東日本大震災後、環境省職員として福島
県の原子力被災地復興事業に携わる。
2020年より現職。



長谷川 晋

長距離ハイカー
一社)トレ研の代表理事をつとめ、日本に
おける長距離トレイルやハイキング文化の
発展に奔走している。



中島 悠二

写真家
昨年、東京から福島県楢葉町に移住。
一社)トレ研・研究員として「ふくしま浜街道
トレイル」の事業に参加。